

◆発生負荷量調査票確認事項

令和 8 年度発生負荷量調査票(令和 7 年度実績)

※令和7年4月1日現在のデータを基に調査票を作成しています

*変更がある場合のみ記入(別途届出必要)

事業場名	
事業場所在地	

様式	事業場番号	発生負荷番号
	現地機関	市町村

正確な番号が記入されているか確認すること

基準値等を超過していないか確認すること。計算ミスが無く、基準超過がある場合は、超過理由及び対策を様式中央に記入すること。

①総合排水口ベースの実測水量(平均値)

実測水量A (m ³ /日)	区分

- 1: 400m³/日以上
- 2: 200m³/日以上400m³/日未満
- 3: 100m³/日以上200m³/日未満
- 4: 50m³/日以上100m³/日未満
- 5: 50m³/日未満

備考欄: 休業中、廃止、下水道に接続、日排水量50m³未満へ変更等の場合に記入(別途届出必要)

②特定排水口ベースの実測水量及び負荷量

稼働日数	実測水量B (m ³ /日) (整数で記入)	実測負荷量 (=濃度×実測水量/1000)			稼働日数
		COD(kg/日) (小数点以下1位まで記入)	窒素(kg/日) (小数点以下1位まで記入)	りん(kg/日) (小数点以下2位まで記入)	
R7.4					
R7.5					
R7.6					
R7.7					
R7.8					
R7.9					
R7.10					
R7.11					
R7.12					
R8.1					
R8.2					
R8.3					
負荷量最大日	COD				月 日
	窒素				月 日
	りん				月 日
排水量最大日					月 日

総量規制基準または排水量(最大)を超過したことがある場合、その内容、原因及び改善対策等を記入してください

特定排水量が届出値と乖離しすぎていないか確認すること。特定排水の量ではなく、事業所全体の排水量を記入していないか。場合によっては、排水量が増大している場合には、水濁法に基づく特定施設構造等変更届出を提出すること。

負荷量、排水量最大の「日付」が記入されていることが多い。
負荷量最大日: それぞれの実測負荷量が最大になった日の「負荷量」及び「排水量」を記入すること。
排水量最大日: 実測排出量が最大になった日の「実測排水量」とその日の「実測負荷量」を記入すること。

記入者名	
連絡先電話番号	

③公共下水道のみ記入↓

※総量=生活系+産業系+畜産系+その他
その他は、生活系、産業系、畜産系以外の水で、地下水等をいう

排水量・負荷量の内訳(下水道)

	総量	生活系	産業系	畜産系	その他
排水量(m ³ /日)					
COD(kg/日)					
窒素(kg/日)					
りん(kg/日)					

それぞれの内訳と合計の整合がとれているか確認すること。

④浄化槽(農集含む)の場合のみ記入↓

人槽(人槽)	種類

←

- 1: コミュニティプラント
- 2: 集落排水施設
- 3: その他

⑤畜産業のみ記入↓

牛(頭)	馬(頭)	豚(頭)

⑥病院、診療所のみ記入↓

病床数(床)